

番号	コース名	大学名	コース内容	必要条件
1	法務	京都大学	<p>以下の業務に従事させることによりOJTを行う。 ①法務担当者の実務の補助（リーガル・リサーチ等を含む。） ②規程・雛形等の作成の補助 ③研修会等の企画・運営等の補助 ④その他法務関係業務管理等（スケジュール管理等も含む。）</p> <p>既存授業及び研修用講義の受講、企業・法律事務所等の訪問も予定している。（ただし、日程調整の問題があるため、現段階では予定である。）</p>	<p>必要条件 ①法学部卒業以上、又はそれと同等の知識を有する者 ②英文業務に携わる意欲がある者</p> <p>できれば以下の条件に該当することが好ましい ①ロースクールを卒業している者 ②現行司法試験又は新司法試験の短答式試験に合格している者 ③知的財産に関わる基本的な知識を有する者</p>
2	マイクロ・ナノデバイス	京都大学	<p>①マイクロデバイスの歴史と現状および将来方向 ②マイクロ材料創成方法と作製機器操作 ③マイクロデバイスの設計・シミュレーション技術の習得 ④マイクロデバイスの作製演習 ⑤マイクロ計測原理 ⑥マイクロ計測実習 本コースでは自主性・積極性を重視し、自発的な研鑽ができるよう指導する。</p>	<p>受け身の姿勢ではなく、自ら精力的に知識・技術を獲得し、実行できることを強く望むこと また、待ちの姿勢でないように指導する</p>
3	先端イメージング学	京都大学	<p>①デジタルカラー画像処理 色の基礎知識から数値化、混色理論まで解説し、カラーマネージメント一般論へと展開する。また、カラー関連デバイス（デジカメ、プリンタなど）の概要を解説することで、実際のカラー技術の応用について理解を深める。さらに、デジタル画像のカラー調整処理など、実践的な画像処理技術をデモンストレーションベースで解説する。 ②デジタル画像の画質評価と画像処理の実践 デジタルカメラで設定を変えて取得した複数の画像について、その画質の評価を主観的な方法と数値指標を用いた客観的な方法で行い、補正のための画像処理をPhotoshopを用いて実践する。画質の評価項目は、ぼけ、ざらつき、色かぶり、コントラスト、諧調飛び等である。客観的な方法では評価しにくい例や、画像処理の失敗例など、初心者が誤りやすい点について重点的に説明する。 ③超高精細画像取得とカラーマネージメント 大型非接触超高精細画像取得装置（以下、大型スキャナ）を用いた重要文化財のデジタルアーカイブに必要な基礎知識および基本操作方法について述べる。大型スキャナを用いた画像取得およびカラーマネージメント処理の基本について講術し、さまざまな撮像条件に応じた画像取得への応用として、大型スキャナの調整方法を説明する。</p>	<p>工学系大学あるいは芸大を卒業した者 専門分野に関わらず積極的に新しいことを学ぶ意欲のある者</p>
4	現代アートビジネス	京都大学	<p>京都大学のオープンコースウェア映像制作（絵コンテ、授業風景の撮影、編集、アフレコ、ナレーション）などの映像コンテンツ作成を経験しながら、どのような形で社会にビジネスとして役立つ可能性があるのかを研究する。</p> <p>イベントや展示会の準備・実施を通して、「アート」をビジネスベースに乗せるためのプレゼンテーション力やプロデュース力を身に付ける。</p>	<p>英文業務に携わる意欲のある者（必須） マーケティングの知識があれば尚良し</p>
5	現代アートプロダクション	京都大学	<p>京都大学のオープンコースウェア映像制作（絵コンテ、授業風景の撮影、編集、アフレコ、ナレーション） コンピュータを使ったアニメーション制作の基礎、Webデザイン</p> <p>2012年開催韓国万博会場内メインストリート天井を飾る大型LEDスクリーンの映像コンテンツ作成に携わることもあり。</p>	<p>英文業務に携わる意欲のある者（必須） 美術大学卒業または同等程度の学力を有する者 Webデザインの実務経験がある者 F l a s h、アクションスクリプトなどを使用した経験があれば尚良し</p>
6	農・園芸作物の栽培と品質評価	京都大学	<p>研修期間を4セメスターに分け、第1セメスターでは農場で栽培している水稻・畑作物、果樹、野菜、花卉類全般の基礎実習を行う。 第2セメスターでは農業法人での企業研修を実施する。 第3、4セメスターでは、上記作物のうち研修者が興味ある2種類について、個別に栽培理論を学び、専門実習を通して栽培技術を習得するとともに、それらの品質評価能力を養う。 また、全実習を通して農業機械類の操作方法や農業資材の取り扱い法などを習得する。 研修期間中は農場で開講している実習科目「栽培技術論と実習Ⅰ」を毎週2回受講し、各作物の栽培の基礎を学ぶ。 さらに、研修者のみを対象に、農場教員7名がそれぞれの専門的な栽培理論等を講義する。</p>	<p>農・園芸作物の栽培に興味があり、農業関係、食品・流通関係の会社や法人への就職を強く希望している者</p>

番号	コース名	大学名	コース内容	必要条件
7	サステイナブルデザイン教育研究プログラム ～京(みやこ)の知恵を活かしたサステイナブルデザインによるものづくりとライフスタイルの創造～	京都工芸繊維大学	サステイナブルはエコに近い言葉だが、持続可能性と環境と社会に着目した概念である。サステイナブルデザインとは、可能な限り地球環境へ負荷をかけない製品やライフスタイルを創出し、新しい生活価値や美意識を創造することを言う。 本コースは、これに関連する講義演習科目を受講するとともに、本学及び各地のサステイナブルデザインに関する各種の研究、企業取組、関連イベントなどの事例、事業研究を行うことによりサステイナブルデザインの知識を習得し、サステイナブルデザインによる地域の既存事業の活性化、新規事業の創成を図り新市場創造を目指す。 また、久保研究室が主催するサステイナブルデザイン関連の講演会やフォーラム等のイベントに、スタッフとして企画推進等で参画する。	展示博覧会などのイベントの企画推進、広報や冊子印刷やDTP関連の習熟、エコ・サステイナブル関連の習得に興味がある者
8	金属用工作機械の操作技術の習得	京都工芸繊維大学	本学指定のものづくりに関する講義科目を聴講するとともに、本学「ものづくり教育研究支援センター」に現有する金属用工作機械の旋盤、フライス盤、研削盤、放電加工機、コンターマシン、及び溶接(アーク溶接、TIG溶接、MAG溶接)等の基礎的な操作技術を学び、これらのものづくりの工程、加工方法・技術の体験を通して、操作技術の高度化を図りつつ加工のノウハウも習得する。	特に求めない
9	看護師の再就業に向けたキャリアアップ教育	京都府立医科大学	[看護職キャリアシステム構築プランのプロジェクトへの参画] 看護学生および看護職員の臨床能力の継続的な向上をめざし展開しているプロジェクトに参画し、今日的な看護の課題を学ぶ。 [系統的な知識・技術の基盤補強:講義・演習] ①医療・看護の動向 ②系統的な知識・技術の習得、OSCEによる確認 ③フィジカルアセスメント ④医療機器・器具の取り扱い ⑤リスクマネジメント(医療事故防止、感染予防) ⑥自己啓発・キャリア開発 [実践的な看護過程の展開、チーム医療の役割:実習] 病院実習:実践的な看護過程の展開 希望する診療科でのインターンシップ	看護師の免許を有していること 育児・介護などによる離職者で、今後看護師として就業の意思があること
10	社会福祉の仕事をはじめの基礎づくり	京都府立大学	本講座では、社会福祉法人、福祉NPO、福祉関連企業などで活躍するための、基礎知識を学ぶ。 京都府立大学公共政策学部における講義の受講と、大学との提携社会福祉法人での実習を通して、社会福祉援助技術の基礎知識と実習による実践力を養うことができる。 講義の内容に関するレポートを課し、レポートの添削指導を行う。これにより、社会福祉関連現場で働くために必要な文章力や論理力を養うことができる。	受講希望者の学歴は不問 社会福祉、対人支援業務に携わる者としての価値観/倫理観を備えていること 社会福祉士、介護福祉士、ホームヘルパー資格、保育士資格などがあれば望ましいが、必須ではない
11	農作業研修を通じた作物栽培技能と経営管理知識の習得	京都府立大学	精華農場での園芸作物(野菜、花、果樹など)の栽培研修、京野菜等の栽培農家での実地的農業研修を通じた作物栽培に関する基礎的技能と農業経営管理に関する基礎知識の習得ができるようにする。 また、新時代の農業生産技術の研修として、精華地区に新たに開設された産学公連携研究施設内の植物工場を利用した研修も予定している。 農業法人等に就職する際、農業技術に関する実践的知識を有していることを示すことのできる資格として「日本農業技術検定」(12月)を受験する。	農業法人等、農業や食品、その流通に関連する就職をめざしている者 学校等で農業に関する基礎知識を既に習得している者
12	実践的動物バイオ	京都府立大学	①ダチョウを用いた工業用抗体の作製技術 ②細胞培養技術 ③動物実験技術 ④病理組織標本作製技術 ⑤動物取り扱い技術 ⑥大学発ベンチャー会社での実践的開発戦略	①高卒以上 ②動物が好き なお、文系、理系は問わない
13	安心・安全な作物生産に関する知識および技術の習得	京都府立大学	①座学:担当教員の講義を含む関連講義を受講。作物保護に関する基礎的知識を習得する。 ②フィールドワーク:農場にて作物栽培、病害防除技術を習得する。また、発病調査を通じて病害防除薬剤効果の検証法について学ぶ。 ③ラボワーク:研究室にて植物病原菌を含む各種微生物の取り扱い技術を習得する。また病害防除薬剤の作用機作の解析法について学ぶ。	植物や微生物に興味を持つ者が望ましい また高卒レベルの生物学、化学の基礎的学力を有していることが望ましい

番号	コース名	大学名	コース内容	必要条件
14	食品タンパク質・ペプチドの分析	京都府立大学	ペプチド・タンパク質の分離・分画法、構造の解析法	将来の職業に対するイメージを持っていること
15	食の安全・安心を推進できる担い手の養成	京都府立大学	指導担当者の講義「食生活環境論」(週1回)と食品安全性学のゼミ(週1回)を受講し、また研究室で行われている食の安全性に関する分析化学的実験を見ることにより、食の安全を取り巻く様々な問題と解決法を学習する。 「大学生を対象とした食の安全・安心の意識調査(アンケート調査)」として、アンケート内容の構築、作成、調査、回収、データ集計と解析に取り組み、調査の方法を学ぶとともに、食の安全・安心の推進のために何をすべきかを学ぶ。	栄養士、管理栄養士、食品衛生管理者・食品衛生監視員等の資格をもつ人、または、食の安全・安心に強い関心をもち、課題解決に取り組みたいと考える者
16	まちづくりの実践を通じた、企業に必要とされる企画力・コーディネート力を持った人材の養成	京都府立大学	三橋ゼミにてまちづくりの実践を学ぶ/関連授業の受講/宮津市街地の景観まちづくり、景観条例策定に関わる現地調査/住民との交流/まちづくりワークショップ・まちづくりシンポジウムに参加/先進地視察/まちづくり既往研究を学ぶ、など。	広い視野を持ち、美的センスと創造的な能力を有するものが望ましい。
17	木質系資源の工業的・工芸的利活用技術の習得	京都府立大学	木材や竹材を中心として様々な工業的・工芸的利用技術を学ぶとともに、これらに関する科学的知見を修得する。 ①木質系材料の科学的基礎 ②木質系材料の加工方法 ③木質系材料の工業・工芸的加工実習	特に求めない
18	森林資源循環利用技術	京都府立大学	エネルギー・環境問題の現状について学ぶ。また、その解決に向けて期待が寄せられている森林資源、中でも木材に関して、カーボンニュートラル、再生産可能といった特徴について学ぶ。さらに、エネルギー・環境問題の解決に資すると考えられる、木材の高度循環利用技術に関して、研究室セミナーや専門的な論文講読を通して学んでいく。先端の木材利用技術について、実験を通して体験し、習得していく。	やる気のある者
19	ビジネス実務の基礎知識の習得	京都学園大学	経済学部ファイナンスコース、経営学部の会計コース、法学部の民間企業コースの科目を中心に、受講者の興味と関心に応じて体系的に関連科目を受講できるので、社会人としての基礎知識の習得にも役立つ。	特にないが、ビジネス実務について強い関心を持ち、その基礎的知識の習得を強く希望する者が望ましい
20	生体における化学成分の分析技術	京都学園大学	各研究室に順次所属し、植物や昆虫および動物細胞の取り扱いや、生体成分の分析技術を実習する。食品成分や生体成分をHPLC、LC/MS、GC、GC/MS、NMRを用いて分析、解析を行う。各研究室のテーマに合わせて、これらの機器の操作法を習熟し、またデータの解析もできるようにする。関連科目の講義も適宜受講する。	化学、生物学などの基礎学力を有し、化学実験や生物学実験の経験者が望ましい
21	微生物バイオテクノロジーの基礎技術の習得	京都学園大学	バイオ環境学部の以下の研究室で実習を行う:微生物機能開発学、バイオマス高度化利用。微生物実験の基本的な手法、微生物による物質生産や環境浄化のための基盤技術を実習する。習得するスキルは、微生物の分離・観察・培養技術、微生物生産物や分解産物の分析技術、遺伝子レベルでの微生物同定技術などである。併せて、バイオ環境学部で開講している実験や講義の受講を推奨する。	化学、生物学などの基礎学力を有し、化学実験や生物学実験の経験者が望ましい
22	未利用資源有効利用技術の習得 (ものづくり)	京都学園大学	バイオ環境学部のエコマテリアル研究室が担当する。 はじめに再資源化技術の基礎について詳述する。基礎を十分理解したうえで、おもに無機系廃棄物の再資源化転換とその利用法に関する実習を実施する。 本講座で習得できるおもなスキルは、水熱合成法による再資源化とその用途利用に関する技術などである。 バイオ環境学部で開講している本講座関連の講義を受講することができる。	特別な条件は定めないが、再資源化およびその応用に関してのキャリア形成を強く希望する者が望ましい

番号	コース名	大学名	コース内容	必要条件
23	実践で育てる就業力とメンタル・タフネス	京都産業大学	①コア科目： 満足できる就業を目指すとともに、組織の中核で能力をフルに発揮するのに必要なメンタル・タフネスを育成・強化するために、次のような内容が展開される。 ・就職活動で得た情報をチームで共有する。そして、そこから得られた、満足できる就業を実現するのに欠かせない「べき・たい・できる」に関する各自の気づきをチームワークで明確にする。 ・組織の中核で能力を発揮するのに必要なメンタル・タフネスを、就職活動やチームワークを通してシステムチックに育成・強化する。 ②副専攻：ファシリテーションOJT キャリア形成支援科目にファシリテータとして参画し、グループワークのデザイン・運営・振り返りを担当者らと協働しつつ実践する。ファシリテーションとは、チームで何らかの事業に取り組む際、中立性を保ちつつ種々のツールを用いながらチームワークを円滑に進めるためのマインドとスキルを指す。 ③副専攻：メンタルリフレッシュメント 健康や運動の側面から、日常における運動を通じて、ストレスに打ち勝つ方法を講義と実習により習得する。	①文系・理系を問わない ②講座スタイルが実践志向型ゆえ、自主性に富んだ者 ③グループワークができる者
24	業務遂行上必須とされる企画立案能力を即戦力として発揮できる人材の育成	同志社大学	「米原市の文化的景観の基本計画の策定委員会等の研究アシスタント」として地域活性化に関して教授指導の下、取りまとめと提言を行う。担当ゼミの学生とともにグループワークを重ねることにより課題の発見、解決のための事例研究、解決策の立案、プレゼンテーションを行う。また、日常的にはリエゾンオフィス(産学連携部門)に席を配置しますので、産学連携マッチング会などへの出席、ビジネスマナーの習得など社会人としての基礎を習得する。期間中、名刺交換の機会を設けるので100枚をメドに積極的に色々な方とコミュニケーションをとっていただきたい。	地域活性化だけに限らず、あらゆることに興味を持って能動的に活動する者に適したコースである
25	組織との連携活動をスムーズに行える人材の育成	同志社大学	人文社会系の産学連携活動に従事する。具体的には企業訪問、教員との打合せ、イベント開催に関する事務局活動、その他関連する機関との調整事項などコーディネート業務に必須の内容をコーディネートする。これらの活動を通じて、ビジネスに必要なコーディネート能力、人脈形成、関連施策の学習、ビジネスマナーなどを習得する。期間中、名刺交換の機会を設けるので100枚をメドに積極的に色々な方とコミュニケーションをとっていただきたい。	地域活性化だけに限らず、あらゆることに興味を持って能動的に活動する者に適したコースである
26	特許情報の調査・収集・分析を行える人材の育成	同志社大学	1.特許制度の基礎知識 特許制度の基本とその必要性及び企業活動と特許制度との関係 2.特許情報の収集の仕方 特許情報とは何か？特許情報検索システムの仕組みとその操作方法 3.特許情報の分析手法の取得 情報の分析手法と分析結果の読み方 4.報告書作成手法の取得 特許情報分析報告書の作成、研修報告書の作成についての手法と報告の仕方を取得 各人が2テーマの調査分析を行うことにより、企業(特にメーカー)における研究開発活動や事業活動に必要な企業動向・技術動向の把握及び関係企業が保有する権利情報の収集分析等の手法を学び、就職後に企業での即戦力となるスキルを取得する。	技術に興味がある者
27	マーケティング分野を中心とした社会人応用力養成	立命館大学	◆担当教員の授業2コマを含む5コマを選択し、併行して企業経営の基礎やマーケティングに関する課題に取り組む。 ◆マーケティング活動や製品開発に必要な、パソコンを利用した統計処理能力や、データ分析、企画設計などマーケティング・スキルの獲得をめざす。 ◆週2回、アシスタントの企業にて実習をする。マーケティングに関する業務に就き、大学で学んだ知識を活用した上で、担当教員からの講評を受ける。	大学レベルにおける経営学の基礎知識を修得していることが望ましい
28	ものづくりのためのCAE教育プログラム	立命館大学	CAE(Computer Aided Engineering、計算機援用工学)の理論と意義を学ぶと同時に、CAEソフトを用いた実習を行い、実践的なスキルの習得を目指す。	①材料力学、連続体力学などの固体力学系の分野について、理工系大学卒業者と同等以上の学力を有すること(必須) ②数学(主に線形代数)および物理(主に力学)について、理工系大学卒業者と同等以上の学力を有すること(必須)
29	京都企業を支えるビジネスプロデューサー育成プログラム (実践・京都ビジネスプロデューサー講座)	龍谷大学	マネジメント基礎、企業会計基礎、企業法務基礎、提案型営業環境マネジメント、顧客満足経営、知恵の経営、京都企業論演習	特に求めない
30	京都のものづくりを進化させる「コア人財(技術者)」育成プログラム	龍谷大学	マネジメント基礎 環境マネジメント 京都企業論 理工学特別演習(本学理工学部の各学科より、修得したい分野を担当する教員が指導する) ※理工学部学科:数理情報学科・電子情報学科・機械システム工学科・物質化学科・情報メディア学科・環境ソリューション工学科	理工系大学卒業生、またはそれと同等のレベルを有する者
31	ウェブビジネス技術 実務家育成	京都情報大学院大学	ICTの基盤的知識、Web技術(基本～応用)、データベース技術、eビジネス戦略、ERP基礎、プロジェクト管理技法、経営学・起業・ビジネスモデル研究などの科目受講とテーマ選択後の個別指導によって、ICTやWebを企業活動に応用する技術・知識を習得し、実践的応用力を身につける。 個人のバックグラウンドにより受講科目を選択する。	応募者は文系・理系を問わない